

Japan Animal Welfare Society **Jaws** REPORT

岡本和真ハッピーアニマルプロジェクト
シエルターメディスン社会連携講座
支部だより
ジュニアコーナー

視察報告
動物カフェ2店舗

本書の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。

表紙モデル：ゴールデンハムスターのあめちゃん

公益社団法人 日本動物福祉協会

〒141-0022東京都品川区東五反田5-21-15メタリオンOSビル2階

TEL : 03-6455-7733 FAX : 03-6455-7730



目次

◆ 視察報告（動物カフェ2店舗）	03
◆ 譲渡報告（まるちゃん&マリリンちゃん）	06
◆ 岡本和真ハピアニプロジェクト 東京ドーム出展	07
◆ 2025年度セミナーのお知らせ & 動物福祉市民講座修了認定試験	08
◆ シエルターメディスン社会連携講座	11
◆ 支部だより（新東京支部）	12
◆ 2024年度CP報告・お知らせ	13
◆ ジュニアコーナー	14
◆ 事務局からのお知らせ&報告	15
◆ 寄付者ご芳名	16
◆ 会費継続と会費納入について	18
	20

Jaws REPORT

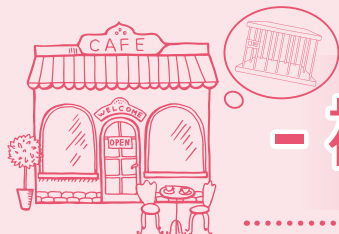
ジョーズ・レポートVol.97

発行人：黒川光隆
編集人：宇野 治 / 町屋 奈

公益社団法人 日本動物福祉協会

〒141-0022
東京都品川区東五反田5-21-15メタリオンOSビル2階
TEL：03-6455-7733
FAX：03-6455-7730
URL：https://www.jaws.or.jp

令和7年8月25日発行



- 視察報告 - 動物カフェ

— はじめに —

近年、SNSなどで話題となり、海外の観光客にも人気の「動物カフェ」（フクロウカフェ、ハリネズミカフェ、カワウソカフェ、爬虫類カフェなど）は、普段見られない珍しい動物やかわいい動物と触れ合いながら飲食を行うことができる場所として注目を集めています。このような動物カフェも動物園と同じ第1種取扱業の展示業として分類されます。日本では法律上、珍しい動物を飼育し「動物園」を名乗ることが比較的容易なため、動物カフェやふれあい動物園とうたう施設が近年増加傾向にあります。しかし、こうした動物カフェなどの動物ふれあい施設では、動物にとって不適切な飼養環境での展示やふれあいがなされ、そこにいる動物が不幸な状況に置かれているという現実があります。さらに、絶滅のリスクや公衆衛生の観点からも問題が指摘されており、多方面から議論が起っています。

この度、海外の方からの相談を受け、6月に都内の動物カフェ2店舗を訪問いたしましたのでご報告いたします。

【A店舗】

1. 概要

こちらの店舗ではチンチラ、ハリネズミとコツメカワウソが展示されており、夜行性動物であるチンチラ、ハリネズミは日中にもかかわらず休むことなく、お客さんに触られていました。さらに、ハリネズミについてはマグカップや植木鉢のような隠れる場所があるものの、お客さんが来るたびにそこから出されて、お客さんが手放すとすぐに隠れるという行動を繰り返していました。中には、体の大きさと隠れ場所の大きさが合わず、頭しか隠せないような個体や、隠れ場所の数が足りていない状況も確認されました。

本来、夜行性動物は営業時間である日中及び夕方に睡眠・休息をとり、夜間に活動的になります。そのため、本来活動しない時間帯に起こされて触られ続けることは生態習性に反しており、過度のストレスに晒されている可能性が高いと考えられます。

コツメカワウソについては展示場所が決まっており、屋内にはふれあい用に2頭が、展示用に1頭が飼育されていました。屋外には、2頭のいる飼養スペースと3頭のいる飼養スペースが設置されており、それぞれにプールと隠れ場所が用意されていました。屋内でふれあいに使用されるカワウソ2頭はお客さんがいれば休憩時間がなく触られている状況にあり、隠れ場所や泳げる場所がありませんでした。単独飼育されている1頭の飼養スペースにも隠れ場所や泳げる場所が用意されていませんでした。

また、水槽が設けられている屋外の飼育スペースであっても、写真の広さ深さでは不十分であり運動不足やストレスとなる可能性が示唆されました。



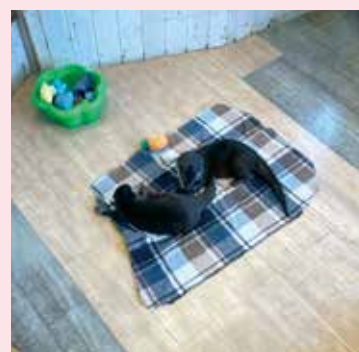
▲ふれあい場所で隠れるハリネズミ



▲屋内で水辺の無いカワウソ



▲狭いスペースで泳ぐカワウソ



▲屋内でふれあいに使用されるカワウソ

2. 各動物の改善点

1) チンチラ

チンチラは跳躍力が優れており、十分な運動量を確保できるスペースが必要です。そのためケージの外で遊べるような遊空間が無い場合は、ケージ自体を大きくし、床面積を広くするとともに、上下運動を行えるようなステップを設置するなどの工夫が必要です。

2) ハリネズミ

野生のヨツユビハリネズミは、200～300㎡もの縄張りを持つとも言われています。そのため、ハリネズミの飼育ケージは広くして、夜間の活発な時間に適度な運動を行うことができるようにする必要があります。

また、基本的にハリネズミは静かで薄暗い環境を好むため、大きな音や明るい光を避けて、しっかり体を隠すことのできる場所を設ける必要があります。

3) コツメカワウソ

本来、コツメカワウソは非常に運動量が多いため、泳ぐための十分なスペース約12m²（畳8畳分）の広さが必要です。したがって、コツメカワウソの飼育スペースを拡張し、それぞれの飼育スペースに十分な広さのプールの設置及び、水質を保つために水の循環装置の設置が必要と考えます。

3. 総括

当該施設では、動物の行動空間が狭く動物本来の行動が制限されており、各動物種の生理・生態的特性が阻害される可能性が高い飼養環境であることが推測されます。これは、動物福祉の基本原則である「5つの自由」のうち、少なくとも「不快（不適切な飼養環境）からの自由」「正常な行動を表現する自由」が満たされていない状況です。

特に屋内のコツメカワウソの泳ぐことができない環境は至急改善が必要であると考えます。

また、動物とのふれあいの場面において、消毒薬は設置されているものの、手指の洗浄や消毒などを促す積極的なアナウンスは見られず、人獣共通感染症（ズーノーシス）への感染リスクも懸念され、動物及び来場者の健康・安全にも問題があると考えられます。

1. 概要

こちらの店舗では入店直後から強い悪臭が漂っており、施設の衛生環境に重大な懸念を抱きました。哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類の多種多様な動物が展示されており、ほとんどの動物がふれあい対象でした。野生動物種やエキゾチックアニマルの飼養管理には、それぞれの動物種の生理・習性・生態に則した適切な環境の整備が必要です。しかし、本施設では本来の生息環境と比べ、飼養スペース、温湿度管理、食性のいずれにも多数の不適切な点が確認されました。このような環境下では、過度のストレスや疾病のリスク及び動物が本来の行動を発揮することが困難です。

特にすべての個体に対してケージが極めて狭く、行動が著しく制限されていました。また、一部のケージには錆が見られ、排泄物で汚れているものもあり、不衛生な状態が確認されました。さらに、原産地の異なる複数種の動物が同一空間に収容されており、温湿度管理が一括で行われていたため、それぞれの動物にとって適切な温湿度が確保されているとは言えません。



▲フクロウとハリネズミの展示

2. 主な動物の問題点

たとえば、ピントロングは東南アジアの熱帯雨林に生息する、樹上性・夜行性で肉食性の野生動物です。当該個体は縦方向の行動が困難な狭いケージで飼養されており、ケージ内には床と平行に配置された木材の角材が2本あるのみで、行動ニーズが全く満たされていませんでした。個体は明らかに退屈そうにしていました。また、このピントロングはふれあいにも使用されており、その際にはケージから出されて中央のテーブルに置かれ、店員からバナナを与えたり撫でたりするように指示されます。餌は基本的にモンキーフード、キャットフード、バナナを1日1回与え、ふれあい時に来客から与えられるバナナも主な栄養源との説明がありました。これでは十分な栄養管理がなされていないことが推測できました。

リチャードソンジリスについても、極めて小さなケージ内に1頭だけ飼養されており、床にはわずかに切った新聞紙が敷かれているのみでした。本来は、北米の広大な草原に群れて生息し、広い行動範囲と巣穴を掘る習性を持ちます。日光浴できる環境も必要ですが、本施設は窓もなく、行動や習性が発揮できるような工夫も見られませんでした。

さらに、フクロウの展示スペースのすぐ下にハリネズミが展示されていましたが、ハリネズミのケージには上側の覆いがなく、捕食者であるフクロウが視界に入る位置にいるため、被食動物であるハリネズミは常にストレスに晒されていると考えられます。

フクロウやヨウムは、短いリーシュで繋がれており、飛翔という本能が全く満たされない状態で展示されていました。また、隠れ場所も設置されておらず、常に人目に晒される環境は望ましくありません。加えて、フクロウに関しては、夜行性であることが全く配慮されていませんでした。フクロウとのふれあいの際には、店員がリーシュのみを短く持ち、お客さんの腕に乗せようとしていた際に個体が驚いて暴れ、落下しそうな場面もありました。動物の扱いに不慣れな様子が見受けられ、個体の安全確保が十分でないと感じられました。



▲爬虫類



▲退屈しているピントロング

3. 特に異常が見られた動物

1) チンチラ

毛並みが悪く、尿で汚れている部分もあり、水ボトルも汚くて不衛生な印象を受けました。ケージは狭く、回し車も設置されていませんでした。また、24時間いつでも食べられるようにしておく必要がある牧草がまったく与えられていませんでした。

チンチラは夜行性で、日中は基本的に睡眠をとる習性があります。そのため、日中の展示やふれあいには向いていません。完全草食動物である彼らにとって、健康的な飼育には「常にたっぷりの牧草を食べられる環境」が不可欠です。これは、常生歯（生涯伸び続ける歯）をすり減らして適切な長さに保つため、また消化管の環境を良好に保つためにも重要です。しかし現状ではケージ内にペレットと水しかなく、基本的な食生活改善が強く求められます。特におやつとして与えられていた、卵白・コーンスターチ・ゼラチン・糖類などから作られるマシュマロは、草食動物のチンチラには適していません。おやつには乾燥野菜、果物、小枝などが適しています。

また、ケージが狭いだけでなく、頭数分の隠れ場所も確保されていないため、隠れ場に入れない個体は汚れた木製ステップの上で休んでいました。しかし、ケージ内には齧れるものが木製ステップしかないため、かなり小さくなっており、十分な休息環境とは言えません。ケージが狭いだけでなく、



▲チンチラのおやつ



▲チンチラのケージ



▲チンチラの毛並みが悪い様子



▲チンチラの様子

回し車も設置されていないため、十分な運動量が確保できていないように思われます。

さらに、被毛を清潔に保ち、ストレスを軽減するためには砂浴びが必要ですが、毛並みが悪く、尿で汚れている部分があることから、砂浴びの提供もされていない可能性が高いと思います。

以上の点から、チンチラたちの基本的なニーズが満たされておらず、給餌・清潔・運動・安心できる住環境のすべてにおいて、早急な改善が必要と考えます。

2) ミーアキャット

ミーアキャットは野生下では群れで生活し、1日に約6kmを移動しながら採食や巣穴掘りを行うなど、非常に活動的な動物です。

当該施設では、2つのケージに分けて飼養されており、1つのケージには1頭のみが、もう1つのケージには2頭で飼養されていました。いずれのケージも極めて小さく、1頭であっても十分なスペースとは言えず、2頭で使用するにはなおさら不適切です。床材としては裂いた新聞紙が少量敷かれているのみで、ミーアキャットが本来もつ「掘る」行動を行える環境ではなく、排泄物を踏む可能性も高い状態でした。

伺った時には、常同行動（同じ場所を行き来するなどの反復的な行動）が確認され、精神的ストレスの兆候が見受けられました。

展示に使用されている小型ケージでは、運動不足や行動の制限が深刻に懸念されます。ミーアキャットは休息時や寒さを感じるとき、あるいは危険を察知した際に巣穴に潜る習性があるため、身を隠せる構造が必要です。また、原産地であるアフリカ南部のような温暖かつ乾燥した気候に適応しており、適切な温湿度管理（目安としては約28℃前後）が求められます。夏に冷房がききすぎることも十分な配慮が必要ですが、施設内ではこれらの基本的な管理がなされていない実態が確認されました。

したがって、各個体が自由に動き回れる広いスペースを用意することが必要です。さらに、巣穴やトンネル、隠れ場を設置して、「掘る」「隠れる」「周囲を観察する」といった本来の多様な行動をとることができる環境を整備することが求められます。砂や土を十分に敷き詰め、掘ることが可能な基盤を提供するなど、飼育環境の早急な改善が必要です。

3) ナマケモノ

樹上性で、変温動物であるため、縦の行動ができる広いスペースが必要であり、高温多湿の管理が必要とされます。しかし、当該施設では、縦の行動が制限された隠れ場所もない狭いケージの中で飼養しており、常同行動が観察されました。環境改善が必要です。

4. 総括

当該施設では、動物の生態や習性に則した飼養管理が行われておらず、動物福祉の基本原則である「5つの自由」がいずれも十分に満たされていませんでした。

「5つの自由」は、動物が不適切な環境に置かれていないかを判断する基準であり、すべての項目が満たされて初めて適切な飼養管理がなされていると評価されます。したがって、本施設の状況は、明らかに不適切な飼養管理であると考えられます。

また、動物とのふれあいの場面においても、手指の洗浄や消毒などを促すアナウンスは見られず、人獣共通感染症（ズーノーシス）への感染リスクも懸念されました。



▲非常に狭いケージで飼養されるミーアキャット

※B店舗の動物福祉の「5つの自由」に照らした問題点

1. 飢えおよび渇きからの自由

- ・水が入っていないケージが複数確認された
- ・糞尿で汚れた状態のケージが散見された
- ・餌の量、質、与え方に問題があり、栄養管理が不十分
- ・個体ごとの健康状態に応じた食餌管理がされていない

2. 不快からの自由

- ・施設内に酷い悪臭が漂っていた
- ・狭く不衛生な飼養スペースで、隠れ場所や休息場所が確保されていない
- ・生息地の異なる複数種の動物が同一空間で管理されており、温湿度が一律で適応できていない

3. 痛み・疾病・傷害からの自由

- ・怪我を負った状態の動物が展示されていた
- ・病気や怪我の兆候に対して適切な治療が行われている様子が見られなかった

4. 恐怖や抑圧からの自由

- ・捕食動物（例：フクロウ）と被捕食動物（例：ハリネズミ）を近距離で展示
- ・狭いケージに閉じ込められ、運動不足が深刻
- ・外的刺激やふれあいによる過度なストレスが与えられている

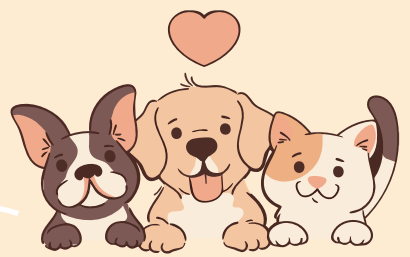
5. 正常な行動を表現する自由

- ・行動空間が極端に狭く、移動・採食・探索・休息など本来の行動が阻害されている
- ・各動物種の生理・生態的特性を無視した飼養環境
- ・掘る、登る、隠れるといった種固有の行動が発現できるような工夫がされていない

— さいごに —

どちらの店舗についても動物本来の行動制限が確認されました。加えて、B店舗は飼養環境が非常に劣悪で、基本的な食生活さえ守られておらず、どの動物の飼育ケージも明らかに狭すぎました。両店舗ともに今後の飼養管理及び環境の改善を求め、管轄自治体への報告を行いました。

譲渡報告



マリリンちゃんとまるちゃんはもともと同じ家で暮らしていましたが、飼い主の方が他界されたため、当協会で新しい飼い主さんを探しました。今は別々のお家で幸せに暮らしています。今回、新しい飼い主の方からメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします！

🐾 先代のわんこが亡くなって数か月が過ぎ、やっぱりわんこのいる生活がしたいと思っていた所にマリリンがやって来ました。

小さな白いマルチーズのマリリンはぬいぐるみみたいで、家族みんな大好きになりました。あどけない顔やすぐ寝転んでお腹を見せるしぐさはとても可愛くて、私たちを癒してくれます。

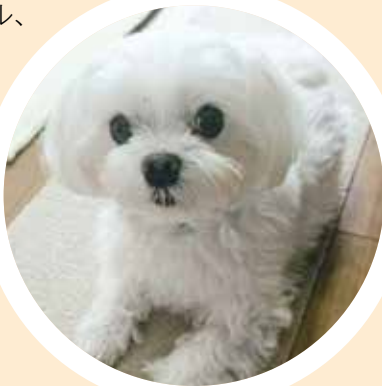
来たばかりの頃はフードをなかなか食べず何をあげればいいのか苦労しましたが、今はぱくぱく食べます。

家では私の後をついて回り、長女には遊んでアピール、主人には膝に乗せてと甘えます。

時々、トイレシート以外でおしっこしたり食糞したりしてしまうのですが、まだ我が家に来て数か月、マリリンが安心して暮らせるよう家族で接したいと思います。

離れて暮らす次女から「マリリンが来てくれて幸せ！」とコメントをもらいました。帰省する楽しみが増えたようです。

マリリンちゃん



まるちゃん

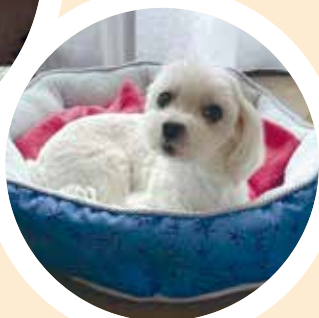


🐾 私の両親はいつも犬がいる人生でしたが、昨年12年間一緒に過ごした愛犬が亡くなり、寂しく元気がない日々を過ごしていました。

そんな時、日本動物福祉協会をネットで知り、まるちゃんと出会いました。飼った事がある犬種だったのと、1番驚いたのが犬の名前が同じだった事です。偶然だけではなく運命を感じました。

すぐに協会と連絡を取り面会した所、とても可愛くて両親はすぐに気に入り、トライアルを希望しました。最初はまるちゃんの嫌がる事、性格、接し方を理解しながら、環境に慣れてもらう事を最優先に接しました。まだ完全には慣れていませんが、ゆっくり時間をかけて慣れてくれる事を願っています。

まるちゃんが家に来てから、両親も散歩に連れて行ったり、お世話をしたり、以前より元気が出て楽しそうにしている姿を見ると、譲渡して頂いて本当に良かったと思います。素敵なお縁に感謝致します。ありがとうございます。





★東京ドーム内ブース出展2025 報告★

おかげさまで、2021 年より読売巨人軍の岡本和真選手とともにスタートした「岡本和真 HAPPY ANIMAL プロジェクト」は、今年で 4 年目を迎えました。

この活動をより多くの方に知っていただきたいという思いから、読売巨人軍のご厚意により、2025 年 5 月 5 日および 7 月 6 日に東京ドーム 1 階コンコースの一角をお借りし、資料配布および動物福祉に関するアンケートを実施しました。アンケートは、動物福祉に対する認知度を調査する内容です。

試合開始前の時間、かつ 3 塁側（ビジター側）という立地条件から集客は難しいと予想していましたが、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で岡本選手のサインボールが当たる特典を用意したところ、初回も 2 回目も好評で各 150 名以上の方にお立ち寄りいただきました。

アンケートでは『岡本和真 HAPPY ANIMAL プロジェクトを知っていますか？』という質問に対し、巨人軍ファン以外の方からの回答も多く寄せられた中で、全体の 6 割以上の方が『知っている・聞いたことがある』と回答してくださいました。

『動物が好きですか？』という質問に対しては、8 割以上の方が『好き』と回答くださいました。また、牛乳やお肉を購入する際に、畜産動物がどのような飼料を食べているか、どんな環境で飼育されているかを考えたり、気にしたことがあるかという質問には、約 6 割の方が『はい』と答えられました。



JAWS ブースにお立ちよりいただいた方から募金を頂くこともあり、この 3 年間にわたるプロジェクトを通じて、岡本選手の想いが少しずつ形となり、『動物を大切にしたい、守りたい』という気持ちが広がりを見せていることを実感しております。





2025年度セミナー・研修会日程一覧

※スケジュールは、都合により変更になる可能性があります。 詳細は当協会HPにて随時更新いたします。

講座名・対象	定員	概 要	講 師	日 程	開催方法	開催場所	備考
第4回 シェルター・メディスン・セミナー ＜どなたでも参加可＞	100	・シェルターでの収容能力 ・頭数管理の科学的知見 ・自治体からの報告	・田中亜紀先生 ・自治体職員	2025年 7月12日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	E111 教室
第5回 シェルター・メディスン・セミナー ＜どなたでも参加可＞	100	・獣医災害学概論 ・シェルターでのボランティア活動 ・自治体からの報告	・田中亜紀先生 ・自治体職員	2025年 12月13日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	E111 教室

講座名	定員	概 要	講 師	日 程	開催方法	開催場所	備考
動物災害対策研修会 ＜自治体職員・獣医師対象＞	100	・災害対応概論 ・家庭動物等の災害対応 ・産業動物の災害対策・防災対策 ・地方自治体が行う支援活動 ・災害時のシェルターメディスン	・田中亜紀先生 ・遠山潤先生 他 ・調整中	2025年 10月11日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	E111 教室

講座名	定員	概 要	講 師	日 程	開催方法	開催場所	備考
RSPCA (英国王立動物虐待防止協会) インスペクター短期研修会	50	・RSPCA について ・動物福祉の基本 ・英国での通報から改善までの対応 ・ペットとして飼育される野生動物問題 ・国連などの動物に関する世界の動向	・ポール・リトルフェア先生 ・RSPCA インスペクター ・木原友子先生	2025年 11月22～24日 (3日間)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	B314 教室
RSPCA (英国王立動物虐待防止協会) 生命尊重教育セミナー (仮)	50	・動物福祉教育の概念とツール ・命の尊重の実践的指導 ・授業計画、活動デザイン等	・デイビッド・コガン先生 ・ポール・リトルフェア先生	2026年 2月21～22日 (2日間)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	B312 教室



2025年度動物福祉市民講座(全10回)



講座名	概 要	講 師	日 程	開催方法	開催場所	備考
第1回 動物福祉市民講座	動物福祉学概論 動物福祉学について	戸上由香梨先生 田中亜紀先生	2025年 4/14～4/28	配信のみ	—	無料
第2回 動物福祉市民講座	動物虐待について 動物虐待と対人暴力の連動性	木原友子先生 山崎佐季子先生	2025年 5/12～5/26	配信のみ	—	無料
第3回 動物福祉市民講座	実験動物の福祉 代替法について 実験動物の情報開示	坂本雄二先生 秋田正治先生 安倍宏明先生	2025年 6/16～6/30	配信のみ	—	無料
第4回 動物福祉市民講座	愛犬と一緒に！ 猫のストレスを知ろう	尾形庭子先生 藤井仁美先生	2025年 7/14～7/28	配信のみ	—	無料
第5回 動物福祉市民講座	ペットの災害対策 飼い主のための獣医学	平井潤子先生 佐伯潤先生	2025年 8/12～8/26	配信のみ	—	無料
第6回 動物福祉市民講座	産業動物の福祉 (仮)	瀬尾哲也先生 植木美希先生 戸上由香梨先生	2025年 9/16～9/30	配信のみ	—	無料
第7回 動物福祉市民講座	高齢者とペット (仮) 万が一のための準備 (仮)	山崎恵子先生 田代さとみ先生	2025年 10/14～10/28	配信のみ	—	無料
第8回 動物福祉市民講座	地域猫活動とは (仮) 野生動物の福祉 (仮) 海外の法規比較 (仮)	石森信雄先生 森光由樹先生 調整中	2025年 11/10～11/25	配信のみ	—	無料
第9回 動物福祉市民講座	展示野生動物の福祉 (仮)	松本直也先生 山梨裕美先生	2025年 12/8～12/22	配信のみ	—	無料
第10回 動物福祉市民講座	法律から考える動物問題 (仮)	浅野明子先生 細川敦史先生 諸坂佐利先生	2025年 1/13～1/27	配信のみ	—	無料
動物福祉市民講座修了認定試験 ＜全10回受講された希望者対象＞	講座内容から 合計100問の五肢択一形式		受験申込 2026年2月予定 試験日 2026年3月予定	実開催のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都) B311 教室	有料

2024年度に第1回動物福祉市民講座修了認定試験を実施いたしました。
2025年度も全10回の講義を受講された方を対象に、動物福祉市民講座修了認定試験を実施いたします。

シェルターメディスン社会連携講座 実績報告書(要約)

1. 学術業績

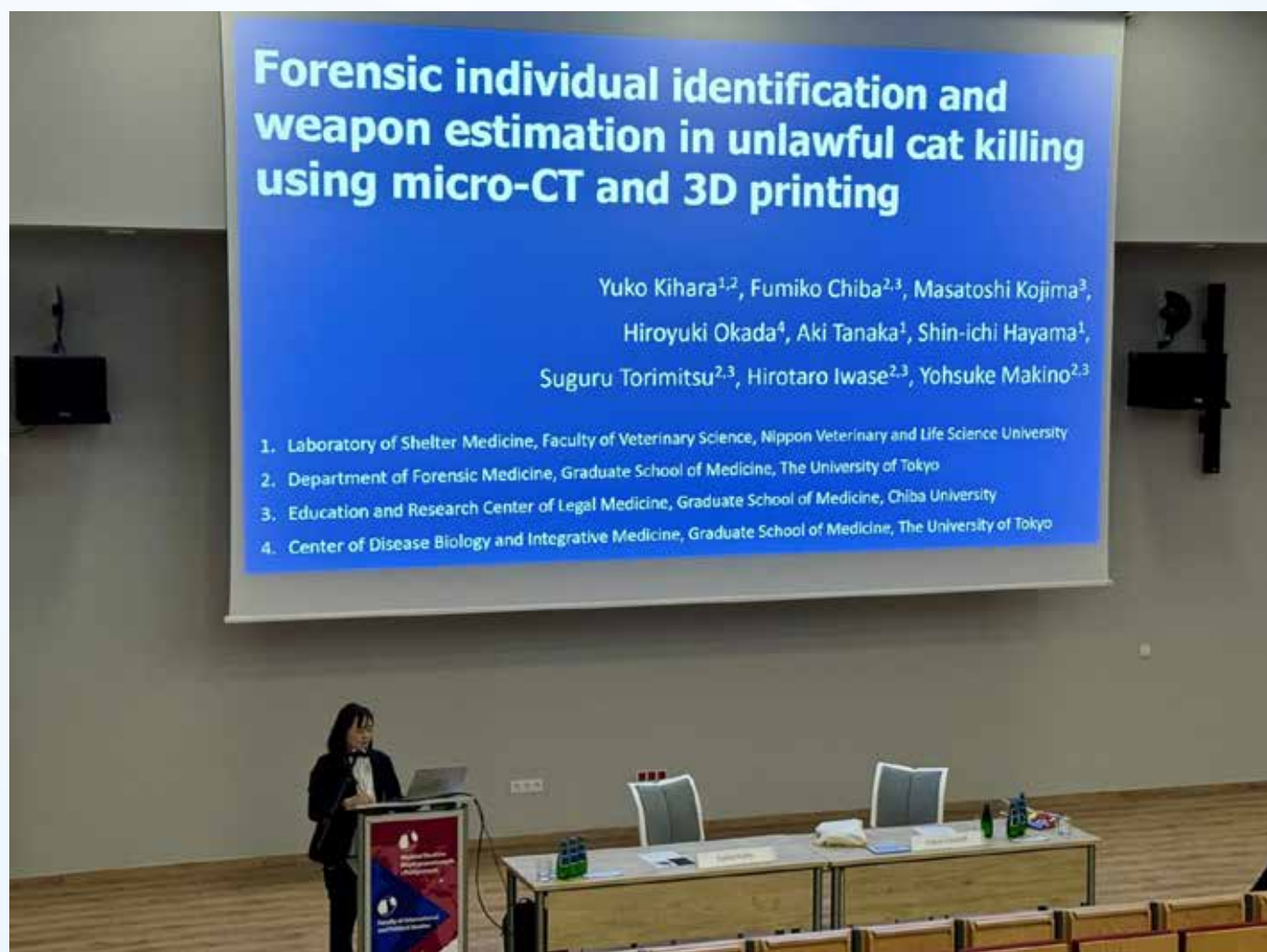
論文

- (1) Utility and limitations of postmortem computed tomography in animal abuse suspected cases: A case series study of cats, Yuko Kihara, et. al, Forensic Imaging, Volume 37, June 2024, 200587.
- (2) Case report: X-ray analytic microscopy with CT-guided sample extraction to analyze potential projectile fragments in a dead serow, Yuko Kihara, et al, Legal Medicine, Volume 63, July 2023, 102257.

学会発表

令和4年度は、The 11th Annual Congress of the International Society of Forensic Radiology and Imagingにて、「Postmortem CT, X-ray analytic microscopy, and ICP-MS used to analyze the wounds of an illegally killed Japanese serow」と題して、第165回日本獣医学術集会にて、「犬猫の多頭飼育崩壊事例における被虐待動物の身体所見に与えるリスク因子の探索」と題して、第22回法医画像勉強会にて、「死後MRI検査を実施したイタリアングレーハウンドの一部検例」と題して、日本法獣医学会第1回学術集会にて「ニホンカモシカ殺傷事例におけるPMCT、X線分析顕微鏡、ICP-MSによる損傷分析」と題して発表しました。

令和5年度は、第107次日本法医学会学術全国集会にて、「多頭飼育崩壊の現地視察3事例の一考察：動物、飼い主自身、同居家族へのネグレクト」と題して、第166回日本獣医学術集会にて、「本邦における動物虐待致死事例の特徴」と題して、第92回日本法医学会学術関東地方集会にて、「猫殺傷事例における法獣医解剖および死後CT、マイクロCT、3Dプリンターを用いた個体識別・成傷器の推定」と題して、日本法獣医学会第2回学術集会では、「法獣医解剖事例を中心に野生動物の法獣医学とは何かを考える」と題して発表しました。



【 The 13th Annual Congress of the International Society of Forensic Radiology and Imaging 】

令和6年度は、The 13th Annual Congress of the International Society of Forensic Radiology and Imagingにて、「Forensic individual identification and weapon estimation in unlawful cat killing using micro-CT and 3D printing」と題して、第108次日本法医学会学術全国集会では、「ペットも共に死亡した家庭内殺人・自殺3例の動物解剖事例に関する一考察」と題して、第167回日本獣医学術集会では、「溺死場所推定を目的とする珪藻種分類を加味した珪藻検査法の検討」と題して、日本法獣医学会第3回学術集会では、「猫殺傷事例における法獣医解剖および死後CT、マイクロCT、3Dプリンターを用いた個体識別・成傷器の推定」と題して発表しました。

シンポジウム

令和4年度は、日本学術会議・日本法獣医学会主催の公開シンポジウム「法獣医学の世界」が9月3日に開催され、「法獣医学と日本法獣医学会」、「法獣医学の実践：虐待診断の現場から」を講演しました。

令和5年度は、日本法獣医学会主催の公開シンポジウム「法獣医学の世界」が9月7日に第166回日本獣医学会学術集会内で開催され、「法獣医学とは」、「法獣医学における動物虐待の診断：本学での取り組み」を講演しました。日本法獣医学会主催の公開国際シンポジウム「International symposium on Veterinary Forensics in Japan」が10月21日に北海道大学獣医学研究院で開催され、「From the scene of animal abuse in Japan」を講演しました。第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会の特別企画シンポジウム「動物愛護法改正に伴う獣医師会と「弁護士会との新たな連携」が、12月1日に第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会内で開催され招待講演を行い、「動物虐待における獣医師の役割」、「法獣医学における動物虐待の診断」を講演し、獣医師会所属獣医師に向けて、動物虐待の概要と獣医師の役割、本学社会連携講座における動物虐待に関する取り組みを紹介しました。日本法獣医学会主催・日本学術会議共催の公開シンポジウム「法獣医学を解く」が12月9日に開催され、「法獣医学の基本」、「法獣医学における大学の役割と取り組み」を講演しました。

令和6年度は、日本法獣医学会主催の公開シンポジウム「動物の安楽死を考える」が11月30日にZoomウェビナーにて開催され、「殺処分ゼロの弊害」を講演しました。

2. 教育活動

シェルターメディスン講義

令和4年度から令和6年度、日本獣医生命科学大学の獣医学科および獣医保健看護学科、動物科学科の学部生を対象として、シェルターメディスンの講義を行いました。

シェルターメディスン実習

令和4年度から令和6年度、日本獣医生命科学大学獣医学科の学部生を対象として夏季と冬季の4カ月間にわたり実施しました。本実習では、行政や民間の動物収容施設を視察することにより、地域の飼い主のいない問題や獣医師の社会的ニーズおよび役割を理解することを目的としています。5日間の実習期間で、シェルターメディスンや法獣医学の概論講義の他、動物の競り・斡旋業の競りの見学、第1種動物取扱業殖業の視察同行、第1種動物取扱業の販売業に従事する獣医師の業務の見学、法獣医解剖の見学、第1種動物取扱業の展示業の疑似視察を行いました。

法獣医解剖実地実習

実際の検体を用いて法獣医解剖の実地実習を実施しました。令和5年度は北海道大学3名が参加しました。令和6年度は山口大学2名、東京大学1名が参加しました。

3. 地域・社会貢献活動

【集団獣医学部門】

第1種動物取扱業（繁殖）の犬猫の動物集団飼養管理状況の視察調査

繁殖業者の動物集団飼養管理状況の実態調査のため、現地を訪問しました。令和4年度に75件、令和5年度に11件、令和6年度に9件の調査を行いました。

第1種動物取扱業（繁殖・販売・展示）の犬猫以外の動物集団飼養管理状況の視察調査

犬猫以外の動物の繁殖・販売・展示業者の動物集団飼養管理状況の実態調査のため、現地訪問しました。繁殖・販売では、令和4年度に5件、令和5年度に6件の調査を、展示では、令和5年度に3件の調査を行いました。

第2種動物取扱業の犬猫の繁殖業者の動物集団飼養管理状況の視察調査

第2種動物取扱業、いわゆる犬猫の動物保護団体の動物集団の飼養管理状況の実態調査のため、現地を訪問しました。令和6年度に29件の調査を行いました。

【法獣医学部門】

動物不審死体の解剖検査

令和4年度の依頼件数は127件で、解剖検体数は214体でした。動物種は、犬26体、猫172体、その他19体でした。動物虐待の内訳は、殺傷59体、遺棄・多頭飼育崩壊を含むネグレクト68体、中毒32体、不詳15体でした。

令和5年度の依頼件数は117件で、解剖検体数は176体でした。動物種は、犬27体、猫119体、その他が28体、不詳1体でした。動物虐待の内訳は、身体的虐待を含む殺傷40体、遺棄・多頭飼育崩壊を含むネグレクト38体、中毒28体でした。

令和6年度の依頼件数は114件で、解剖検体数は219体でした。動物種は、犬19体、猫143体、その他57体、不詳1体でした。動物虐待の内訳は、身体的虐待を含む殺傷70体、遺棄・多頭飼育崩壊を含むネグレクト62体、中毒4体でした。

多頭飼育崩壊等の視察

令和4年度の依頼件数は9件で、動物種は、犬491頭、猫55頭、その他約100頭でした。令和5年度の依頼件数は5件で、動物種は、犬243頭、その他85頭でした。令和6年度の依頼件数は7件で、動物種は、犬299頭、猫26頭、その他60頭でした。



【現場立入りの様子】

生体動物の鑑定および保管

令和4年度の嘱託・保管件数は8件で、動物種は、犬が10頭、猫が3頭、その他が1頭でした。動物虐待の内訳は、身体的虐待が12頭、遺棄・多頭飼育崩壊を含むネグレクトが3頭、その他が1頭でした。令和5年度の嘱託・保管件数は3件で、動物種は、犬が4頭、猫が1頭でした。動物虐待の内訳は、いずれも遺棄を含むネグレクトでした。令和6年度の嘱託・保管件数は4件で、動物種は、犬が6頭、猫が5頭、その他が1頭でした。動物虐待の内訳は、多頭飼育崩壊が1件、遺棄が3件でした。

動画の虐待鑑定

令和4年度の嘱託件数は3件で、動物種は、犬が3頭でした。動物虐待の内訳は、身体的虐待が3体でした。令和5年度の嘱託件数は2件で、動物種は、犬5頭、その他1頭でした。動物虐待の内訳は、いずれも身体的虐待でした。



【保管した猫 1】



【保管したハムスター】



【保管したトイプードル】



【保管した猫 2】保護当時の腹囲膨満の様子。後の検査で子宮蓄膿症と診断され、手術を行いました。

【災害獣医学部門】

成田DVI (Disaster Victim Identification: 大規模災害時死因調査・身元確認) 訓練

某国際空港で着陸時に発生した航空機事故により機内で火災が発生し、死亡者が多数発生した事例を想定し、2023年1月24日に、国際医療福祉大学の会議室で、DVI訓練が実施された。日本では大規模災害時のDVIで実施されることがない死後CT画像検査が話題となり、人獣鑑別への利用について意見を述べました。

【新東京支部】だより

支部長 高柳 信子



ゆっきーくん (ゆきなかくん)
ちよっぴりシャイボーイだけど、
慣れたらデレデレな予感♡♡

たーくん (ただのぶくん)

・去勢オス
・ワクチンや予防は全て済んでいます！
・右目が小さいのは感染症の影響ですが、
生活には支障ありません！
・容姿を気にしない方のところに行ってもらいたいです！

お問い合わせ先
アニマルメディカルセンターまで！
(03-3468-1109)

飼い主募集中!!

つるこ 女の子
かめきち 男の子

ワクチン ノミダニ予防
血液検査異常なし
毛が全体的に落いです

お問い合わせ先 ▶アニマルメディカルセンター(03-3468-1109)

新東京支部は、ヤマザキ学園渋谷キャンパス内に併設された、動物病院「アニマル・メディカル・センター」の中に拠点を置いています。ここは、未来の愛玩動物看護師や、動物に関わる仕事を目指す学生たちが集う、希望と活気にあふれた特別な場所です。今回は、そんな私たちの支部のユニークな特徴をご紹介します。

私たちの施設では、学生たちが自主的にボランティアサークルを結成し、保護動物のお世話を担ってくれています。新しい動物が保護されると、シフトを組んで、食事や清掃、遊び相手まで、きめ細やかに面倒を見てくれます。かわいいうさぎやポニーを作成し、譲渡先を探すお手伝いもしてくれます。動物のブローを目指す彼らの眼差しは真剣そのもの。その純粋な愛情は、傷ついた動物たちの心を少しずつ癒してくれます。動物病院に勤務する愛玩動物看護師が、学生たちを全面的にバックアップしています。学園の教員や職員ももちろん、皆が大の動物好き。時には休日を返上してお世話に来ることもあります。この「好き」という気持ちが原動力となり、施設全体が温かい空気に包まれています。実は、保護動物たちの譲渡先は、こうした学生や職員であることが少なくありません。お世話をするうち、かけがえのない家族として情が移っていくのです。これこそが、私たちの環境の良さを物語っていると思っています。

私たちの最大の強みは、アニマル・メディカル・センターとの密な連携による、高度な医療体制です。心を閉ざし、人を怖がる保護動物には、行動診療科認定医の獣医師が専門的なアドバイスをくれます。どうす

れば動物にストレスをかけずに心を開いてもらえるか、その子に合った最適な方法で接するため、人慣れまでの時間が大きく短縮されます。実際に、人を威嚇して触れなかった野良の子猫が、平均3〜4ヶ月ほどで喉を鳴らして甘えるようになります。無事に譲渡可能となるケースがほとんどです。また、高齢で保護される動物も増えていきます。そうした子には、鍼灸やレーザー治療といった緩和治療で、慢性的な関節炎などの痛みを和らげ、QOL（生活の質）の向上を目指します。大学から歯科専門の獣医師も診察にくるため、日々の歯磨きといった予防ケアから、麻酔下での本格的な歯科処置まで、すべて施設内で完結できます。

医療ケアだけではありません。併設されたグループミングサロンでは、ブローのグルーマーや学生たちがシャンプーやカットを行い、体を清潔に保ちます。適切な医療で体を治し、温かいふれあいで心を癒し、そしてグルーミングで身だしなみを整える。心身ともに健やかな最高の状態で、新しい家族の元へと送り出すこと。それが、私たちの目標です。未来を担う若者たちのエネルギーと、各分野の専門家による確かなサポート。この二つの力が合わさることで、一頭でも多くの命に輝く未来を繋いでいきたいと願っています。これから、新東京支部の活動を温かく見守っていただけますと幸いです。



2024 年度 いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン最終結果報告

犬猫の手術費用の一部を助成する本キャンペーンは今回で 31 回目の開催となりました。対象地域は大分県と沖縄県の 2 県で実施いたしました。本キャンペーンは各地方獣医師会や自治体、メディア各社そして地域の皆様のご協力のもと無事に終了いたしました。

最終的に合計 757 頭の不妊去勢手術費用の助成をいたしました。ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。期日までに不妊・去勢を実施した方へは、3 月末までにネット振込みまたは振替払出証書で助成金をお支払いしております。

地域 ▼	応募頭数							当選頭数							手術実施頭数				
	メ ス		オ ス		性別不明		計	メ ス		オ ス		性別不明		計	メ ス		オ ス		応募総数
	猫	犬	猫	犬	猫	犬		猫	犬	猫	犬	猫	犬		猫	犬	猫	犬	
大 分	309	58	267	52	25	0	711	294	56	256	49	20	0	675	209	45	214	36	504
沖 縄	134	48	111	44	38	0	375	128	46	108	43	38	0	363	110	31	89	23	253
合 計	1086 頭							1038 頭							757 頭				

2025 年度は地域を限定せず、「JAWS 不妊去勢手術助成事業」に統合いたします。

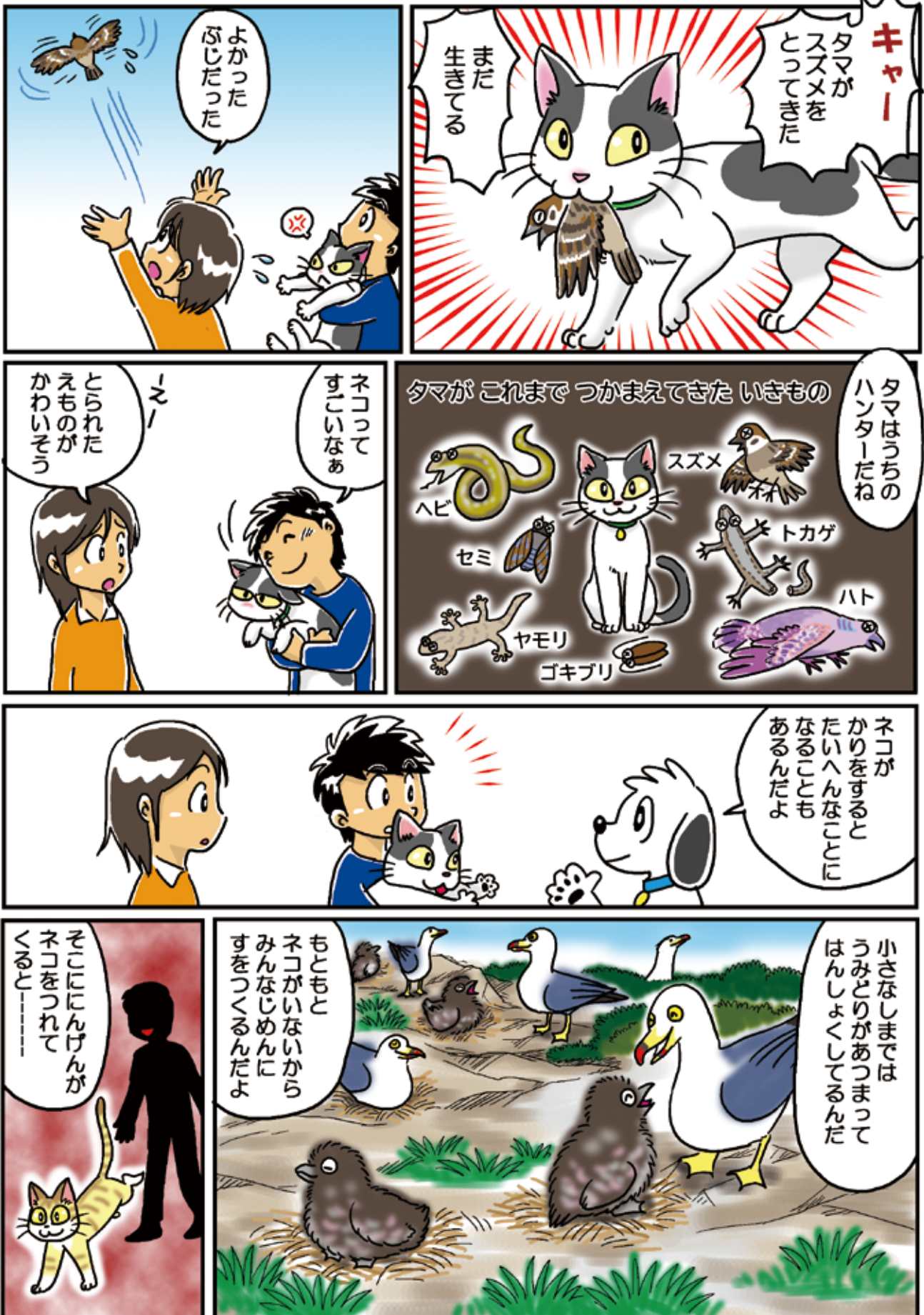
2025 年度「JAWS 不妊去勢手術助成事業」リニューアルのお知らせ

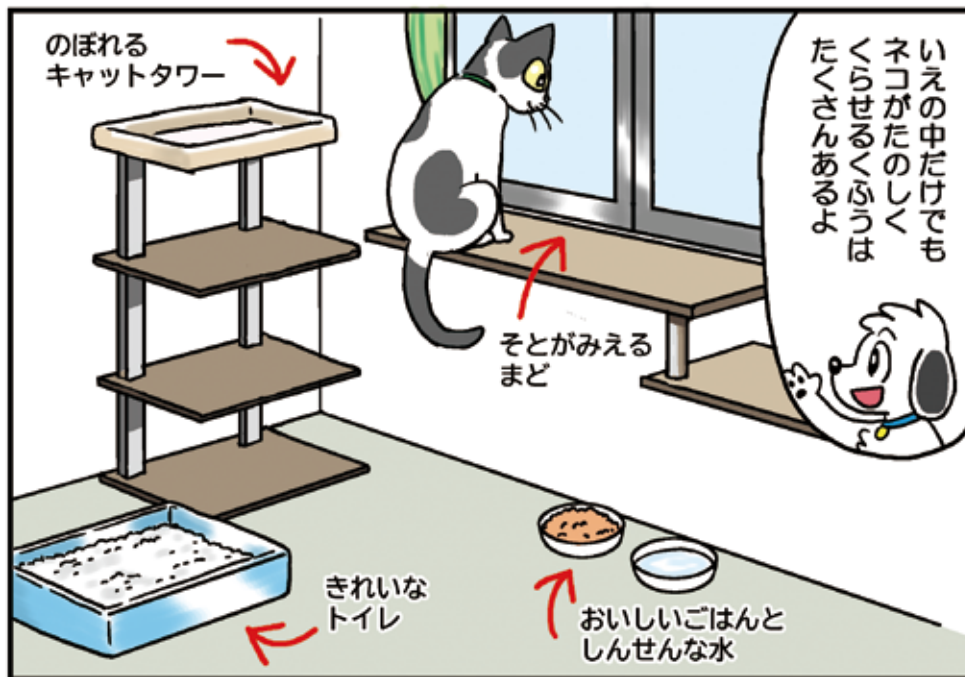
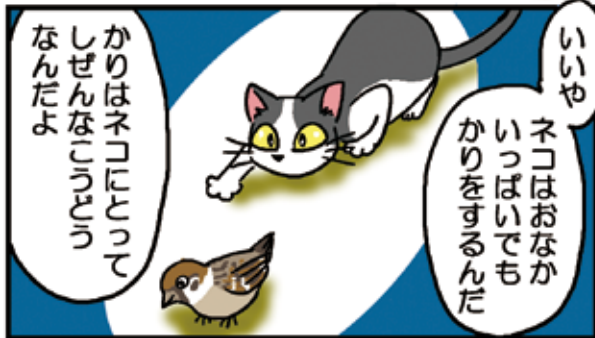
当協会会員及び一般（非会員）の方を対象とした、犬猫の不妊去勢手術の助成金制度です。本部の他に、神奈川県、栃木県、長野県、大阪府、兵庫県の各地域にお住まいの方は、お住まいの近くの支部で助成金の申請が可能です。詳しくはお近くの支部までお問い合わせください。なお、2025 年度より上記で報告した地域限定の助成申請方式を取りやめ、全国の一般及び当協会会員（支部管轄地域を除く）を対象とした新たな助成事業へとリニューアルいたしました。募集要項をご覧ください。

支部管轄地域以外の地域にお住まいの方は、本部までお問い合わせください。

募 集 要 項	
対象動物	原則 飼い主のいない猫と犬
対 象	当協会個人会員及び一般個人（非会員） 本事業は当協会の活動にご賛同いただいております方を対象としております。 ※一般個人（非会員）の方は事務手数料 3,000 円を事前にお支払いいただきます。 ※当協会支部会員の方及び支部の担当地域（神奈川・長野・栃木・大阪／兵庫）在住の方は、各支部にお問い合わせください。
手術期間	2025 年 4 月 1 日（火）～ 2026 年 2 月 28 日（土）まで
助成金額	一律 5,000 円（5,000 円未満の手術費用は申請不可）
条 件	1 会員上限 5 頭／年 ※申請は、同一住所 2 名までと限らせていただきます。
申請期間	2025 年 4 月 1 日（月）～ 2026 年 3 月 3 日（月）必着 予算がなくなり次第、期間内であっても終了となります。
申請方法	下記①～⑥までを JAWS まで郵送ください。不備があると申請の受理ができません。 ① 申請書※(1)(2) ④ 耳かたの写真（※猫のみ） ② 請求書※(3) ⑤ 手術跡の写真（手術跡は麻酔が効いている状態のほうを撮影しやすい） ③ 病院印付きの医療明細書（原本）※(4) 領収書のみは不可 ⑥ 官製はがき 1 枚（表面に申請者の住所・氏名記入済のもの）※(5) ①②は当協会ホームページからダウンロード又は希望者には FAX・郵送いたします。 ※(1) 一頭につき一枚ご用意ください。 ※(2) 会員様と非会員様で申請書が異なります。該当する申請書をご使用ください。 ※(3) 1 申請につき 1 枚で結構です。 ※(4) コピー不可。助成金申請者（会員様）と明細書の宛名の相違がないようお願い致します。また、病院印または獣医師の印を押したものをお願いします。 領収書だけの場合は、病院等の捺印の他に金額の内訳がわかるものを添付すること。※(5) 1 申請につき 1 枚で結構です。
助成金のお振込	当月 15 日までに受付した申請に関しては、当月 24 日前後に指定口座へのお振込みとなります。 当月 16 日以降の分に関しては翌月 24 日前後のお振込みになります。
注意事項 (必ずご一読ください)	○ 申請は、同一住所 2 名までと限らせていただきます。 ○ 支部のある地域（神奈川県・栃木県・長野県・大阪府・兵庫県）にお住いの方は、各地域の支部へ直接お問い合わせください。 ○ 支部・連絡所については当協会 HP⇒ https://www.jaws.or.jp/about01/about02/ ○ 不妊去勢手術費以外の費用（ワクチン、ノミダニ予防、ウイルス検査等）は、助成金の対象にはなりません。また、手術費用が 5,000 円未満の場合にも助成金の対象にはなりません。 ○ 申請書を受理した時点で、残り助成可能頭数を数えております。タイミングによっては書類到着時点で予算に達している場合もございますので予めご了承ください。 ○ 申請個体に対し、行政などから別途助成金や補助金が支払われる場合には、支援の公正・公平を図るために、当協会の助成対象とはなりません。
お問い合わせ 送 付 先	電話：03-6455-7733（平日 9:00～17:00） 〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-21-15 メタリオン OS ビル 2F 「JAWS 不妊去勢手術助成事業」係

ネコの かり と やせいどうぶつ





ネコはかりをする
いきものだから
そとにだすと
いるんないきものを
とってしまうよ

ネコのおんげんの
ためにも
ネコはいえの中で
かってね



事務局からのお知らせ & 報告

JAWSグッズのご紹介



▲ NEW グリーティングカード
¥1,100 (2種 各4枚セット・封筒入)

犬と猫のグリーティングカードが、新しいイラストで再登場いたしました！ 元気いっぱいにお散歩をしたり、まったりとお昼寝する犬猫たちの姿が、明るく優しい色彩で描かれています。贈る方も受け取る方も、思わず笑顔になるような心あたたまるカードです。ご自宅用はもちろん、プレゼントにもおすすめです。その他、定番のTシャツ・ポロシャツ・パーチなど、多彩なJAWSグッズも取り揃えております。各種行事やバザーで販

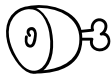
売しているほか、ホームページ等からもご購入いただけます。なお、常陸宮妃華子殿下がご翻訳された絵本など、一部在庫数に限りがある商品もございますので、ぜひお早めにご用命ください。

事務局新スタッフ紹介

この度、櫻井の後任として着任いたしました。愛玩動物看護師の皆川です。大学での専門的な学びを基盤としつつ、今後さらに知見を深め、少しでも動物福祉の向上に貢献できるよう努力を重ねていきます。未熟な点も多々ありますが、常に学び続ける姿勢を大切に、日々の業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



2026年版JAWS オリジナル動物カレンダー



皆様から送っていただくペットの写真をもとに作成されるオリジナル動物カレンダーは、とても可愛いと大好評です。すでに可愛い写真が集まってきており、大いに期待できそうです。カレンダー下部は、予定が書き込める欄があるので、ご自身やご家族のスケジュール管理に最適です。10月末ごろ完成予定で、カレンダー購入のお申込みはお電話・グッズ販売サイトより随時受付けています。

※送料が600円に値上がりいたしました。



「見開きA3サイズ／1部1500円＋送料全国一律600円」

お申込み・お問い合わせは

日本動物福祉協会・事務局まで
03-6455-7733

【理事会報告】

2025年1月度

・2025慈善ピンゴ会開催要領承認
・自販機募金スキーム承認

・動物虐待等科学的評価研修会講師派遣承認 他

2025年2月度

・2024年度決算方針、2025年度予算策定方針承認
・シエルトームデイスン社会連携講座期間延長承認

2025年3月度

・2025年度事業計画承認
・2025年度予算承認

・足利市多頭飼育崩壊猫救護支援承認 他

2025年4月度

・2024年度事業報告承認
・2024年度総会招集、議案等承認

・第66回動物愛護の作文コンテスト実施要領承認 他

2025年5月度

・2024年度監査済計算書類／総会資料承認
・後援名義使用承認

・年間表彰受賞者承認 他

2025年6月度

・内閣府定期報告提出承認
・後援名義使用承認

・維持会員入会承認 他

【2024年度定時社員総会報告】

開催日時・場所：2025年6月21日（土）

13時30分から

オフィスサーククルN五反田

大セミナー室にて

決議事項…

第1号議案「2024年度計算書類承認の件」
原案通り可決・承認された。

報告事項…

報告事項1 2024年度 事業報告
報告事項2 2025年度 事業計画
報告事項3 2025年度 予算



使用済み切手、未使用ハガキ・切手を送ってください！

全国の皆様からのご厚情で送っていただいた切手やハガキは、犬猫の不妊・去勢手術の助成金や動物救護活動などに、有効に役立っています。業者指定のサイズにボランティアの方々がトリミングをして下さっていますが、右記の通りにお送りいただければ助かります。

あまり手間いらずで、動物たちにすぐ役立てられますので大歓迎です。少量でも構いません。皆様の温かいご協力をお待ちしています！尚、正式なお礼状が必要な方はその旨をお知らせいただくか、メモ等に「お礼状希望」と記載の上、同封してお送りください。



切手の処理方法

- ① 切手の周りは5ミリ外側を切る。
- ② 消印の部分は不要
- ③ 外国切手は区別する(少し高く売れます)
未使用ハガキ・未使用切手

例



会費等の振込が便利になりました



会費の振込方法が以下 3 つになりました

① 郵便局・コンビニ

従来の郵便局・コンビニへ振込用紙を直接、持参して振込（振込用紙は毎年 4 月頃郵送）。コンビニ支払期日を経過した用紙は郵便局で利用可能です。

※会費と同時に寄付金をご支援くださる方は、郵便局にて振込用紙を下記例のように金額訂正の上、ご送金をお願い致します。

② WEB決済（クレカ決済）

2022 年 4 月より会費納入が郵便局やコンビニに足を運ばずに、PC・スマホ・タブレット等の web 上でクレジットカード決済ができるようになりました。ご希望の方は supportus@jaws.or.jp ヘタイトルに会費納入希望と記載の上、「氏名」、「登録電話番号」をお知らせください。

※会費と同時に寄付金納入をご希望の方は、「寄付金額」、「寄付金使途」「領収書の有無」と上記 2 点に加えてお知らせください。

③ 口座振替

「年 1 回の会費」及び「定期的な寄付」を、都度の振込手続きがいらぬ便利な口座振替にできます。ご希望の方は事務局までお知らせください。

例

払込取扱票		通常払込料金加入者負担	
02 東京	金額 5000	金額	3000
加入者氏名 公益社団法人 日本動物福祉協会	料金	備考	
〒141-0022 東京都品川区 東五反田 ○ー△ー□			
福祉 愛子			
一般寄付 2,000			
《本部控え》			
代金会社ヤマトシステム開発(株) 支払期日 2017 年 8 月 13 日			
この振込票は、大切に保管してください。			

振替払込請求書兼受領証	
口座番号 00000000000000000000	金額 00
加入者氏名 公益社団法人 日本動物福祉協会	
〒141-0022 東京都品川区 東五反田	
福祉 愛子	
《店舗控え》	

払込受領書 (お客様控え)	
振込人氏名 福祉 愛子	
新着コード 2335	
3,000	
公益社団法人 日本動物福祉協会	
コンビニエンスストア 収入印紙貼付欄	
受領日印	

寄付金の使い道をご指定の場合は、通信欄にご記入ください。

寄付者ご芳名(敬称略)

2025/1~2025/6
寄付者一覧表(五十音順)

毎月寄付

相川絵理子 公益社団法人 アニマル・ドネーション 石曽根泰久 小倉智恵子 柏田大貴 窪野幸子 黒木敬子
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 坂巻忠彦 砂沢トメ 高橋杏奈 竹内靖子 西岡千秋 羽田野宮子 張替邦夫 津由利子
UK ONLINE GIVING FOUNDATION ロイヤルハウジング販売株式会社 ロイヤルリゾート株式会社 脇田昌実 ワタベミヅキ

一般寄付者

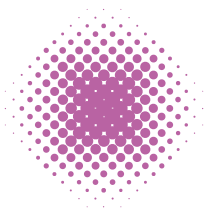
相澤洋子 株式会社 アイ・ステーション 芥川美奈子 アシード株式会社 阿部弥生 天野由利子 安東美知子 池永公美子 池谷妙子
石井重則 市川祐子 一ノ瀬貴子 市村玲 伊東裕美子 伊藤芳江 伊藤美子 稲岡歩 井上薫子 井上博昭 伊福千恵
今村幸恵 岩成明子 伊佐みわ 上野美絵 内田麗 梅本公代 占部裕子 永福誠也 株式会社 エーエス 江口匠 M.A
近江屋良子 大岡久恵 大社淑子 大西由紀子 大野千賀子 岡田あさか 岡田志保 岡本和真 小川栄治 奥田世理子
落合榮子 小野賀永子 小野みどり 恩田佳子 柿田栄子 笠浪博 梶直巳 金谷明彦 鎌田玉恵 鳥橋佳世 河盛三代
木内聖子 岸川紀子 岸弘子 北江身子 北川七代 北村美代子 木村慎一 久野文代 久保島寛子 久保田馨 窪田美喜子
黒岩貴子 黒坂敬子 黒田奈津子 小泉真知子 小寺弘子 小林慶子 小林知仁 小林光世 小森國由 近藤正春
斉藤真喜子 酒井幸子 榊原幸子 坂英樹 坂本健 佐久間修 迫田久恵 笹井幸恵 佐々木よし子 佐藤仁美 佐藤陽子
信濃浩子 篠崎明美 下川利恵 白石直子 一般財団法人 明治神宮崇敬会 杉浦多代 杉本久美子 杉山良枝 鈴木秀雄
鈴木真貴子 鈴木礼子 有限会社 saintarrowone 関根威夫 関根輝江 ダイドードリンコ株式会社 高木みどり 高田聖子 高橋極子
高橋保子 高山玲菜 瀧澤恵里子 田口千栄子 竹内万世 竹下淳也 武田志保子 竹田澄子 田地紫野 龍野せつ子 舘野芳之
田中綾子 谷口由佳子 田部雅彦 垂水洋子 千葉昭子 筒井亜希子 角井さよ子 Thierry Jean Neuville 寺田淳子
照井正治 一般社団法人 常磐会 得能節子 徳松静代 豊嶋純子 豊島泰子 富田裕子 永井加代子 中川宜是 中川美代子
中島紀史子 中田勝彦 中之島まつり募金 中村史子 納村道一 成清弘子 成瀬富美子 西浦花也 西川清敏 西原範子
西村和子 西山舞 西山碧璃 公益財団法人 日本いけばな芸術協会 沼波晃司 野口聡子 野澤一恵 野田嘉一 橋本勝子
長谷川彩 畑山玲子 バッカーズ・ファンデーション 服部悦子 浜中光子 一般財団法人兵藤哲夫アニマル基金 平井潤子
廣橋幸子 慈善ビンゴ会募金箱 福田裕子 福見明子 福山和勇 藤井志津江 藤井貞子 藤井美和 藤田三香 藤永隆一
富士水美樹 MARCUS EVERARD 正木桂子 松岡吉次 Mc Daid James Philip 松本和子 三木教代 水田哲郎
溝口健治 三ツ橋真澄 三村尚子 宮入典子 宮寄由美 宮本八千代 武藤美和子 村上寿子 村田絵里奈 村田智子
目崎久仁子 望月和代 森本直子 森谷悦子 森脇幸 安井節子 梁瀬美佐子 山移千鶴 山浦みどり 山岸康 山口和子
山口幸子 山崎翔真 山田昌子 山本清美 山本京子 山本繁子 山本利恵 山浦江里子 夕川久光 吉川広明 吉田瑤子
吉本文江 ロイヤルハウジング株式会社 六畳ブック 渡辺郁与 渡辺秀 匿名 募金箱

動物関連用品ご寄付者

新井順子 池田典子 加藤佳代子 金子剛 (有)カラーフィールド 熊倉美寿々 小林福美ダンススタジオ 佐藤 潮田正子
西澤 ボラン動物病院 山内裕子 山口幸恵 渡邊

使用済み切手・葉書等ご寄付者

(株)IAI アイギスセキュリティ(株) IG テック(株) 相田理恵子 (株)アィムホーム 青木忍 青木緑 青柳卯一郎 (株)あかぎ労務管理事務所
赤羽医院 赤平亜美 浅倉孝幸 朝野和美 (株)アサノ大成基礎エンジニアリング 芦田佐誉子 あすなる法律事務所
愛宕橋にしざわ脳神経外科クリニック 安達妙子 (有)アドバンストキャピタル (株)イー・エス・オー イイツカ工業(株) 家城佐和
池上かなえ 池田克大 池田興業(株)岐阜支店 池谷公美子 石川重信 石川弥恵子 石崎尚美 石関美枝 (株)石原不動産
石山礼子 (株)磯野 市川毅 伊藤真美 伊藤美里 井上菅子 井上由美子 今井育子 今金町農業協同組合 (株)弥栄
医療法人社団 緑水会 山口医院 上野美絵 植本幸子 鶴久森美加 江川純子 (株)エコビジョン (株)エスディ 佐藤電気
NPO 法人後見人センターとちぎ 榎本早苗 江原 遠藤愛 及川真梨奈 (株)追分 大阪センコー運輸(株) 大迫智加子 大澤祥子
大澤陽子 太田典子 (有)大西建工 大野英美 大原正康 (有)大村市社会福祉協議会大村市ボランティアセンター「あいわーく」
オカダアイヨン(株)福岡営業所 岡部郁子 岡山県私立幼稚園連盟 (有)小川建材工業 沖田 桶兼住設(株) 尾崎昭子 尾崎光子
音威子府村役場 鬼塚節子 小野里工業(株) 小野順子 甲斐真歩 (株)海洋建設 葛西美沙子 柏原紙商事(株)大阪支店 柏原美帆
片岡浩爾 (株)葛飾冷機センター 勝田 神奈川県立海老名高等学校 金澤美津枝 (株)KANAYA 金子美架 上妻司法書士事務所
加美電子工業(株) 神谷動物病院 嘉陽時計店 刈屋マリ子 河田知子 川又葉子 川村佳子 菊地優子 (有)キクハン 岸本静香
君塚初美 木村 (有)京都市社会福祉協議会参加支援部 (有)協立産業 共和食品(株) 清原たかみ (株)クオリティ 熊倉あやの
(株)クレイン工芸社 黒沢糸子 黒瀬典子 黒田さとみ 黒田志穂 群馬県館林保健福祉事務所 経徳昌弘 (株)健学社
県北木材協同組合那珂川工場 小池法誉 コークアジアパシフィック(有) 古賀真理子 越谷アスコン(株) 小高明子 小玉亘
小寺弘子 小西敦子 小林恭子 小林てるは 小松真奈美 小村直美 米重奈織美 近藤法子 (有)コンフォータブル 三枝晶子
斉藤紀子 斎藤保子 坂内美佳 榊原デザイン事務所 酒田山王ライオンズクラブ 坂田昌優 佐賀成美 坂原幸子 相良和子
佐々木由香 佐竹芳朗 札幌市円山動物園 (有)札幌食品サービス (株)佐藤工務店 佐藤仁美 佐藤弘美 佐藤百合 (株)サトシゲ
サヤマラピート(株) 三興管理(株) (株)三泗計測機 (株)山陽工業 サンワテック(株) JA いるま野所沢地域管理課 塩野一美



塩野目美智子 島本祐里 清水工業(株)山梨工場 下西弘子 (株)ジャパンエコロジー ジャパンローヤルゼリー(株) 庄司美璃 上東聡美
白石久美子 白水克代 白銀美保子 新栄興業(株) 新藤清恵 新都工業(株) Suemaru FT INNOVATORS (株) 杉田信一 杉原昌永
杉山香 (株)すごい人工芝 鈴木生子 鈴木正子 鈴木真弓 鈴木美香 鈴木美穂 鈴木祐子 住友不動産シスコ(株)管理部
生長の家 夙川さくら母親教室 (株)セイウエ芸 清水ハウスリフォーム(株)岐阜営業所 セキソ(株) (株)関鉄工所 関三枝子 世古鉄工所
(株)セレスボ名古屋支店 (株)善光堂 加藤仏壇店 (一社)全国信用金庫協会 (株)仙台銘板 瑞晃化学(株) 園田千絵 (株)大京アステージ千葉支店
ダイダン(株)東北支店 大和リース(株)横浜支店 流通建築リース営業所 高木睦 高橋由美子 高原明美 高宮尚子 高山理恵子
竹内恵子 竹原友紀 田代文子 多田弘美 田辺恵子 田原ひな子 程馬千鶴子 津島玲奈 土屋幾代 筒井亜希子 津野友加子
坪井空 (株)ディエイアイプランニング TECHNICALUNION (株)テクノコーポレーション (株)テルミック常滑営業所 てんしんらんまんラッキー
天満尾真樹子 (株)東京海上日動キャリアサービス 東京都島しょ保健所大島出張所 東部ネットワーク(株)北陸営業所 戸崎友美
(株)都市研究所スペース 栃木支部 土橋晴美 豊田有紀子 富永彩 トヨタホーム愛知(株) (株)トヨタレンタリース新福島 中岡工業(株)
永長 中川弥生 中川理又子 永倉玲奈 中込京子 中島知春 (株)ナカシマホールディングス 長嶋葉子 中城 中筋かな子
永田恭子 中谷みほ 永田部品製造(株) 中塚一女 長沼里沙 中根睦美 中野恵梨子 長野県小梅高等学校保健委員会 中野寿人
仲野宏美 中道リース(株) 中村 中村香織 中村設備工業 中村朋子 中村瞭造 中山秀樹 (福)名古屋市社会福祉協議会
那覇市環境部環境衛生課 並木章代 南国殖産(株)鹿児島事務管理課 二光光学(株) 西澤智香子 西澤俊子 西野浩子 西村俊徳
(株)ニチエコ 日産工業(株) (株)日進堂印刷所 日本生命保険相互会社 柏常総支社 (株)日本セレモニー尼崎支店 日本全業工業(株)
猫の額 木村慎一 野口郁代 (株)野口工業 野々保美希 パーソルダイバース(株)ミラトレ大井町 (株)ハートムーブ (株)パールハンズ (株)榛原
伯太郵便局 箱守怜史 橋爪洋子 橋本勝子 養建設(株) 八正建設(株) 服部光男 パナソニック インダストリー労働組合 春日井支部
パナソニックエレクトリックワークス労働組合 (株)パナホーム愛知 花村久美子 林有紗 原田 原優子 (株)帆栄物流 (有)ひがし薬局
日立造船マリンエンジン(株) 美容室ルルシャルム 平田桂子 (株)平田塗装店 平松真紀子 廣島知佳 ヒロヤマヤエコ 深田亮子
(一社)福島県消防設備協会 福田簡易郵便局 (福)福利厚生センター 藤井典子 藤城美和 藤本晃史 (有)フジワテック 古谷歩
ふわふわティッシュ (株)PAY ROUTE ポーター製造(株) porte 北陸麻袋(株) ホシザキ東海(株) ホシノユミコ 北海コンノ急送(株)
堀澤晴美 本田京子 本田知子 本田智恵美 本間静香 前田亜由美 牧野まゆみ 牧野祐子 増山さおり 松鶴吉美 松隈朋美
松崎博 松田美咲 松本あずさ 松本真由美 間戸場靖子 丸芳木材工業(株) 三浦真由美 溝添篤子 三井ミーハナイト・メタル(株)
(有)三津屋電化工業所 南大阪支部 南塚美智子 峰松悦子 三宅 宮崎理江 (株)雅商事 迎麻実 村田喜代美 (株)村田産業
名糖運輸(株) (株)メタルプロダクツ 望月 持留 元木薫 (株)モモヤシステム (株)守谷商会 森裕子 八上桐子 八木稲子
柳沼千明 八幡悦子 山内桂子 (株)山口ナット 山下生子 山下英俊 山下洋子 山登産商(株) 山室享子 山本陽美 山本由香
山本洋子 結城匡彦 横浜金属商事(株)福岡事業所 吉川恵子 (株)吉田産業 吉田康子 吉野知美 (株)レント堺営業所
路地裏雑貨店コトイロ Y.A.P.S. 山形動物愛護を考える会 若田部裕見子 若原弥恵 渡邊 渡邊邦章



会員継続と会費納入のお願い

当協会の動物福祉活動は支援者の方々からのご寄付と会員の方々の会費で成り立っています。不妊・去勢手術援助は毎年特定の地域（県）を選定し、キャンペーンとして行っており、今や、すっかり定着し援助に対する期待も大きくなっています。動物福祉啓発の為の各種セミナーもご好評を頂いております。こうした地道な活動を継続、拡大するには安定した資金源が必要であり、その観点からのご寄付に加えて、会員の基盤を強固にしていく事が大事だと考えております。動物福祉に興味を持たれておられる方には、是非、皆様から入会をお奨めいただきたく、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

会員種別

維持会員（S） 7,000円*
賛助会員（A） 3,000円
青少年会員（J） 1,000円
*正会員2名の推薦が必要です。

ご送金先口座番号は事務局までお問い合わせください

尚、会費納入方法に従来の郵便振替・口座自動振替に加えてWEB決済（クレカ決済）が加わりましたので17ページをご参照下さい。

ご寄付のお願いと関連する税優遇措置について

皆様からのご寄付は全て私どもの動物福祉活動資金として活用されています。2025年度の収支予算においては、収入面では会費36百万円、寄付金44.5百万円を見込んでいますが、一方で、支出面では「いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン」を含む不妊・去勢手術助成金や動物救護活動費用を始め公益事業拡充のための積極的な予算を組んでおり、資金確保が重要な課題となっています。そのため、当協会では会員数の増加とともに、もう一本の柱であるご寄付についても、幅広いご支援をお願いいたしております。

寄付金の使い道

ご寄付の際は、以下の用途をご指定頂けます。ご送金頂く際、郵便振替用紙の通信欄に基金名をご記入ください。

※ご指定が無い場合、一般寄付として受領させていただきます。

動物救護基金

動物の保護・新しい飼い主探し等のご寄付

不妊・去勢手術助成基金

飼い主のいない犬・猫を減らしていく、不妊・去勢手術のためのご寄付

一般寄付金

動物福祉理念の普及や、協会の全般的な活動のためのご寄付

ご寄付のお申し込みは HP または事務局まで

税制上の優遇措置の概略

公益社団法人日本動物福祉協会へのご寄付は、税制優遇措置の対象となっています。所得税、個人住民税、相続税について、それぞれに定められている条件を満たすことで、優遇措置を受けられます。なお、優遇措置を受けるためには申告が必要です。

※住民税における寄付金控除は、各都道府県および市町村の条例で指定されている場合のみ適用されますので、お住まいの都道府県および市町村にお問い合わせください。

	◎税額控除（H23改正追加）	◎所得控除（従来型）
控除額	（寄付金額－2,000円）× 40% ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の40%相当額 ※控除税額の上限は、所得税額の 25%相当額	寄付金額－2,000円 ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の 40%相当額
◎個人住民税		
控除額	①都道府県が条例指定（寄付金額－2,000円）× 4% ②市区町村が条例指定（寄付金額－2,000円）× 6% ※重複指定であれば、（寄付金額－2,000円）× 10%	
◎相続税		
非課税措置	遺贈または相続財産の寄付は相続財産から除外(租税特別措置法70条) ※要件等の詳細は専門家にご確認ください	